

企業と相互支援協定

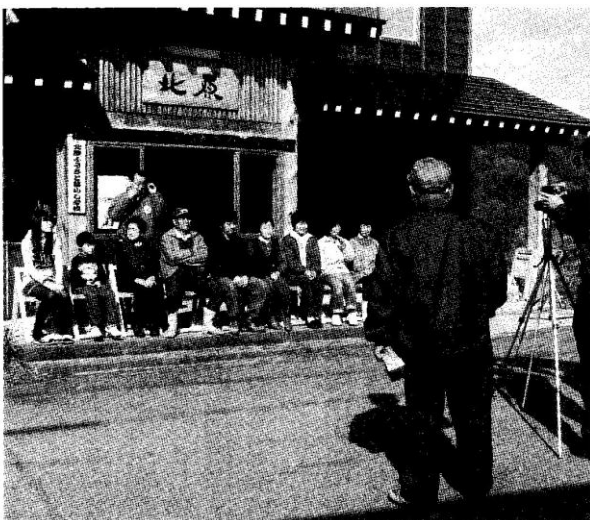
10日に
調印式

飯山市北原区社員研修と福利厚生事業受け入れと東京のIT企業地域活性化支援

飯山市瑞穂北原区(佐藤輝美区長)は先月24日、東京渋谷のIT企業「株式会社アジルコア」(阿部兵悦代表取締役社長)と、相互支援を内容とする連携調印を交わすことを明らかにした。

連携に関する協定書は▽北原区は株式会社アジルコアの社員研修と福利厚生事業の受け入れを支援する▽株式会社アジルコアは北原区の活力ある豊かな地域づくりのため、地域活動を支援する―というもの。

株式会社アジルコアはコンピュータソフトウェアの開発、コンピュータの導入に伴うコンサルティング業務、コンピュータ並びにその周辺機器及び関連事務機器販売、情報提供サービス業を事業内容とする企業で、東京渋谷に本社、長野市内に支社を置く。



「日本のふるさと」づくりへ様々な取り組みが (昨年)

北原区ふるさと暮らし支援委員会事務局の話では、同社は自然豊かな所での社員研修、福利厚生の実施を図ることを目的に、その拠点施設を探していたところ、ふるさと暮らし学校を開設し、公民館を拠点に都会から田舎体験を受け入れている北原を知り、11月26日、同区に連携を申し入れ

た。

北原ではふるさと暮らし支援委員会を中心に、これまでくみみの木オーナー制度や、ふるさと暮らし学校開設など、都会住民との交流と取り組み、活性化を図ってきた。

ただ、その成果よりも過疎とこれに伴う高齢化がいち早く進み、年々集落機能の維持、行事運営が厳しさを増していることから、ア

ジルコア社の申し入れを歓迎した。

両者の連携に関する協定書調印式は、今月10日、北原公民館で行われる。今回の、企業と地方集落の連携は、地方活性化のモデルケースともなるもので、アジルコア社では連携のノウハウを他企業にも紹介し、連携を推進するけん引役を果たしたい―としているという。